参考資料２

# 令和６年度

# ジェンダー平等社会に関する

# アンケート調査報告書

令和７年（２０２５年）４月

茅ヶ崎市

# 目次

**第１章　調査の概要** …… 1
１　調査の目的 …… 1
２　調査の方法 …… 1
３　回収結果 …… 1
４　調査結果の見方 …… 1

**第２章　調査結果の詳細** …… 2
１　回答者の属性 …… 2
２　各設問の調査結果 …… 5
（１）ジェンダー平等に関する用語の認知度 …… 5
①男女共同参画社会基本法 …… 5
②女性活躍推進法 …… 6
③配偶者暴力防止法 …… 7
④女性支援法 …… 8
⑤ジェンダー平等 …… 9
⑥多様性社会 …… 10
⑦性的マイノリティ …… 11
⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画 …… 12
⑨本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組 …… 13
⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ …… 14
（２）男女の地位の平等の考え方について …… 15
（３）「男は仕事、女は家庭」という考え方について …… 18
（４）一般的に女性が職業を持つことについて …… 19
（５）配偶者・パートナー間における暴力の経験について …… 20
（６）女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて …… 30

**第３章　調査結果のまとめ** …… 31

**資料編** …… 32

# 第１章　調査の概要

# 第１章　調査の概要

## １ 調査の目的

この調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握し、今後の茅ヶ崎市のジェンダー平等の施策に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

## ２ 調査の方法

（１）調査地域：茅ヶ崎市全域

（２）調査対象：市内在住の１８歳以上の男女１，３００人

（３）抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出

（４）調査方法：郵送配布・郵送回収（封書）またはインターネット回答

（５）調査期間：令和６年１２月１日（日）から１２月３１日（火）まで（当日消印有効）

## ３ 回収結果

（１）配　布　数：１，３００

（２）有効回収数：５３７（封書：３１９・インターネット：２１８）

（３）有効回収率：４１．３％

## ４ 調査結果の見方

（１）図表中のＮは、回答者数のことです。

（２）回答は全てＮを基数とした百分率で表し、小数点第二位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が１００％にならない場合があります。

（３）集計の結果の表やグラフでは、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

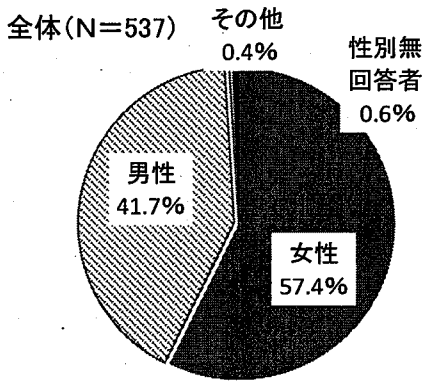
# 第２章　調査結果の詳細

# 第２章　調査結果の詳細

## １　回答者の属性

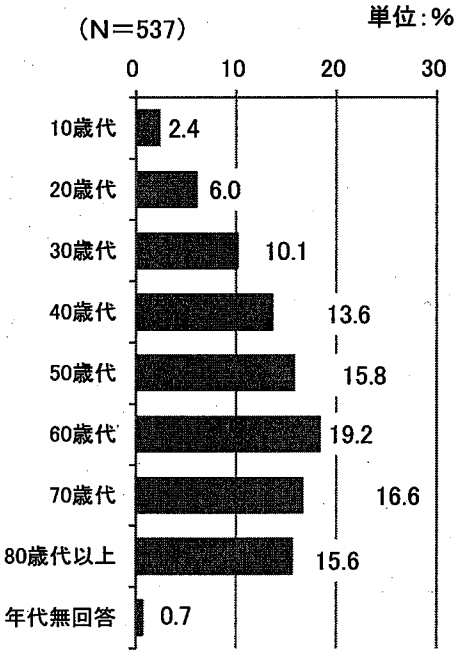
### （１）性別

| 性別 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 女性 | 308 | 57.4 |
| 男性 | 224 | 41.7 |
| その他 | 2 | 0.4 |
| 性別無回答者 | 3 | 0.6 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100 |



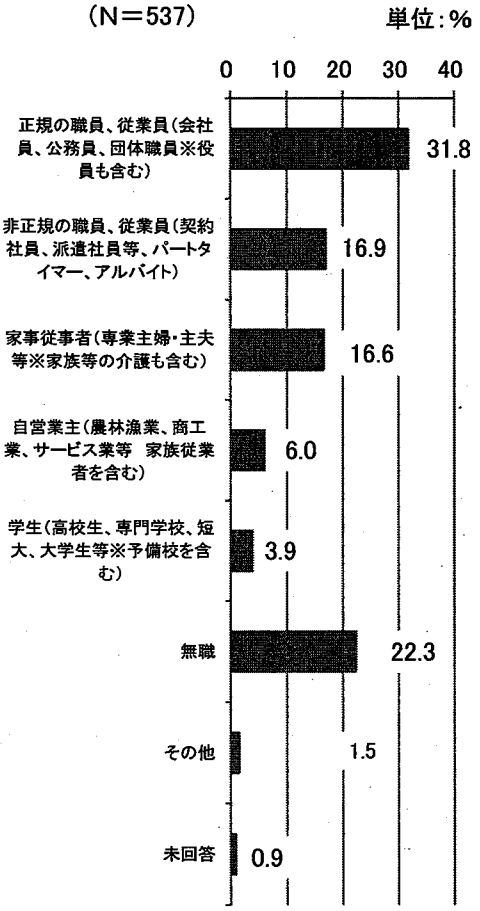

### （２）年代

| 年代 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 10歳代 | 13 | 2.4 |
| 20歳代 | 32 | 6.0 |
| 30歳代 | 54 | 10.1 |
| 40歳代 | 73 | 13.6 |
| 50歳代 | 85 | 15.8 |
| 60歳代 | 103 | 19.2 |
| 70歳代 | 89 | 16.6 |
| 80歳代以上 | 84 | 15.6 |
| 年代無回答 | 4 | 0.7 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100.0 |



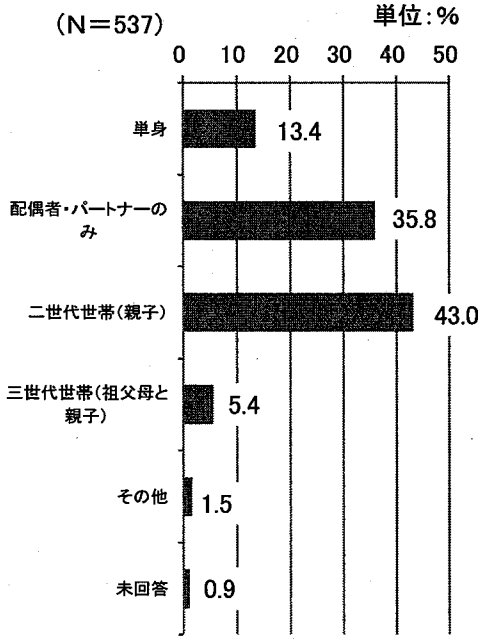
## （３）職業

| 職業 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 正規の職員、従業員（会社員、公務員、団体職員※役員も含む） | 171 | 31.8 |
| 非正規の職員、従業員（契約社員、派遣社員等、パートタイマー、アルバイト） | 91 | 16.9 |
| 家事従事者（専業主婦・主夫等※家族等の介護も含む） | 89 | 16.6 |
| 自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等　家族従業者を含む） | 32 | 6.0 |
| 学生（高校生、専門学校、短大、大学生等※予備校を含む） | 21 | 3.9 |
| 無職 | 120 | 22.3 |
| その他 | 8 | 1.5 |
| 未回答 | 5 | 0.9 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100.0 |



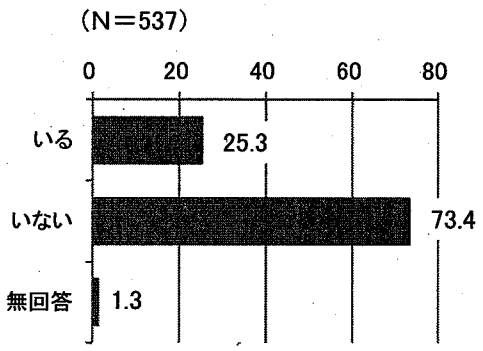

## （４）家族構成

| 家族構成 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 単身 | 72 | 13.4 |
| 配偶者・パートナーのみ | 192 | 35.8 |
| 二世代世帯（親子） | 231 | 43.0 |
| 三世代世帯（祖父母と親子） | 29 | 5.4 |
| その他 | 8 | 1.5 |
| 未回答 | 5 | 0.9 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100.0 |

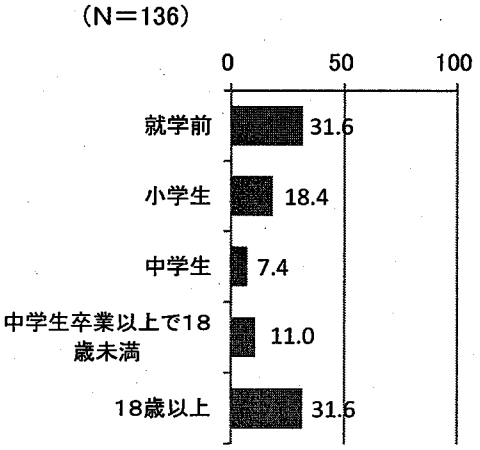


## （５）子育ての状況について

| 育てている子どもの有無 | 件数 | % |
|---|---|---|
| いる | 136 | 25.3 |
| いない | 394 | 73.4 |
| 無回答 | 7 | 1.3 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100 |

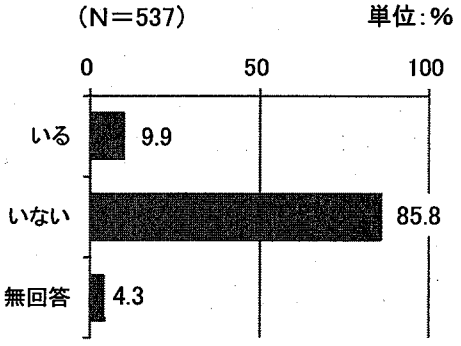



| 年齢区分 | 件数 | % |
|---|---|---|
| 就学前 | 43 | 31.6 |
| 小学生 | 25 | 18.4 |
| 中学生 | 10 | 7.4 |
| 中学生卒業以上で１８歳未満 | 15 | 11.0 |
| 18歳以上 | 43 | 31.6 |
| 合計 | 136 | 100 |




## （６）介護について

| 介護している家族の有無 | 件数 | % |
|---|---|---|
| いる | 53 | 9.9 |
| いない | 461 | 85.8 |
| 無回答 | 23 | 4.3 |
| 合計（回答者数Ｎ） | 537 | 100.0 |



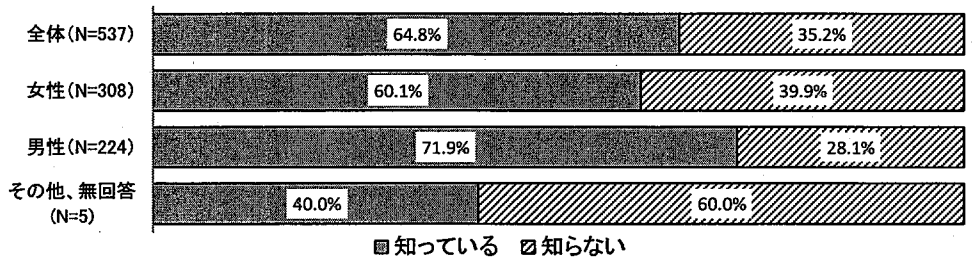
## 2 各設問の調査結果

### (1) ジェンダー平等に関する用語の認知度

**問7　次のうち、知っている言葉や取組にすべて○をしてください。**

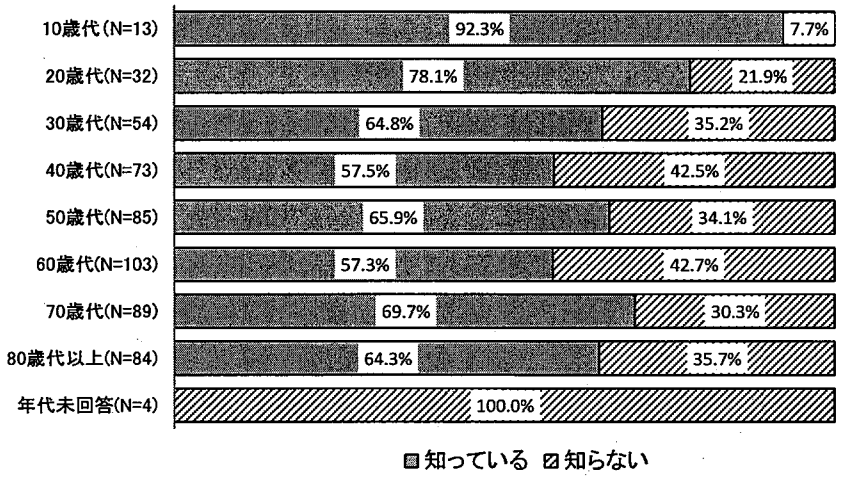
１男女共同参画社会基本法、２女性活躍推進法、３配偶者暴力防止法、４女性支援法、５ジェンダー平等、６多様性社会、７性的マイノリティ、８茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画、９本課が実施している取組、１０茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ

①男女共同参画社会基本法



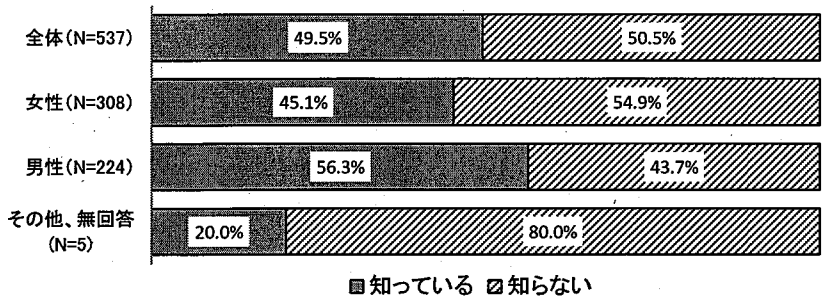

[全体の傾向]
「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は64.8%と半数を超えました。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が60.1%、男性が71.9%と、男性の認知度が高くなっています。



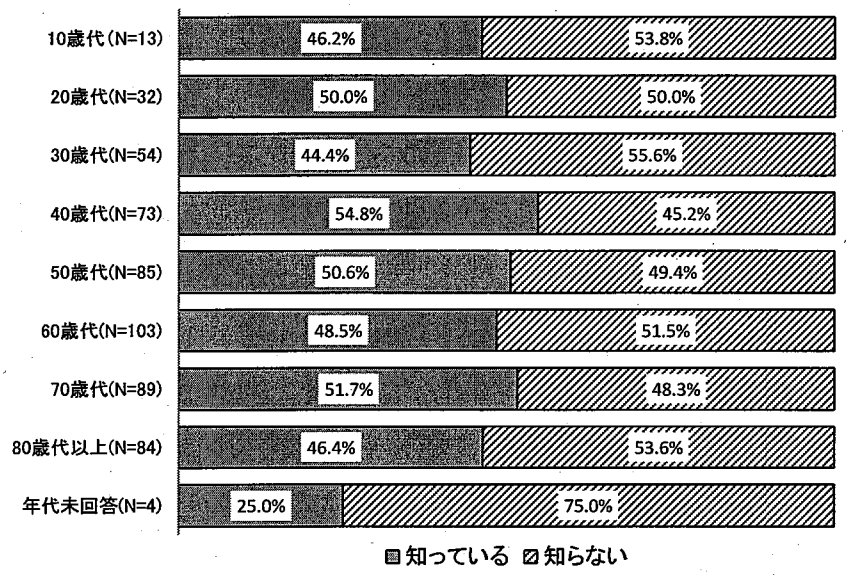

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、10代が92.3%で最も高く、20代(78.1%)、70代以上(69.7%)が続きます。最も低い60代でも57.3%となっており、どの年代でも半数を超えています。

②女性活躍推進法




[全体の傾向]
「女性活躍推進法」については、「知っている」と回答した割合は49.5%と、約半数となりました。

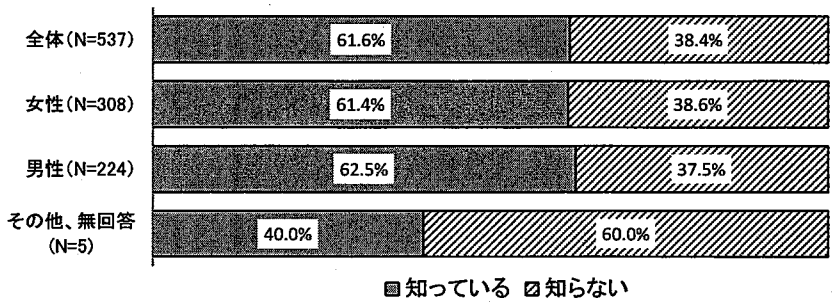
[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が45.1%、男性が56.3.%で、男性の認知度がやや高くなっています。




[年代別の傾向]

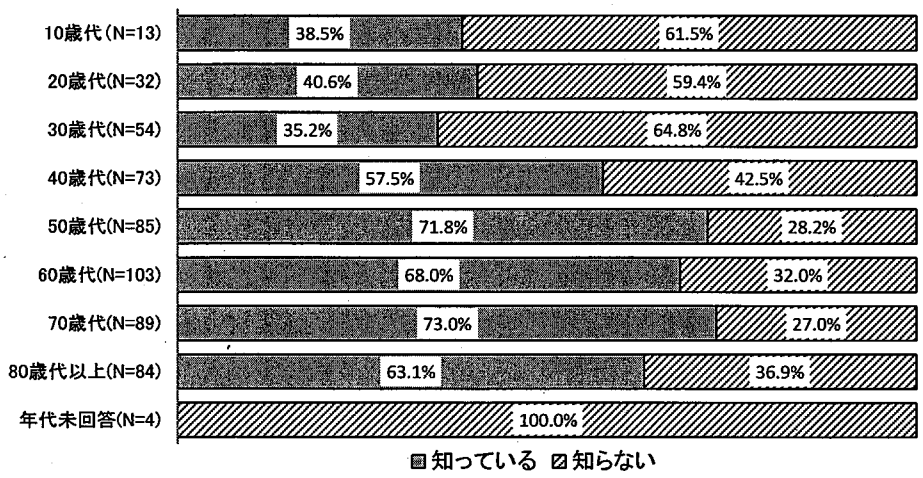
年代別で見ると、40代が54.8%、次いで70代が51,7%、20代が50.0%と続いており、世代間での大きな差はありませんでした。

③配偶者暴力防止法



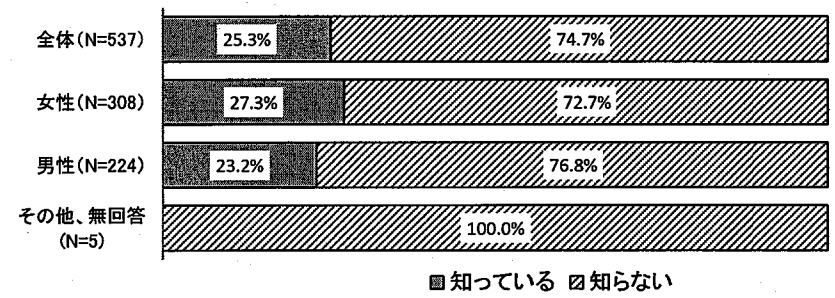

[全体の傾向]
「配偶者暴力防止法」については「知っている」と回答した割合は、61.6%となり、半数を超えました。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性男性ともに60%程度となっており、あまり差異はみられませんでした。



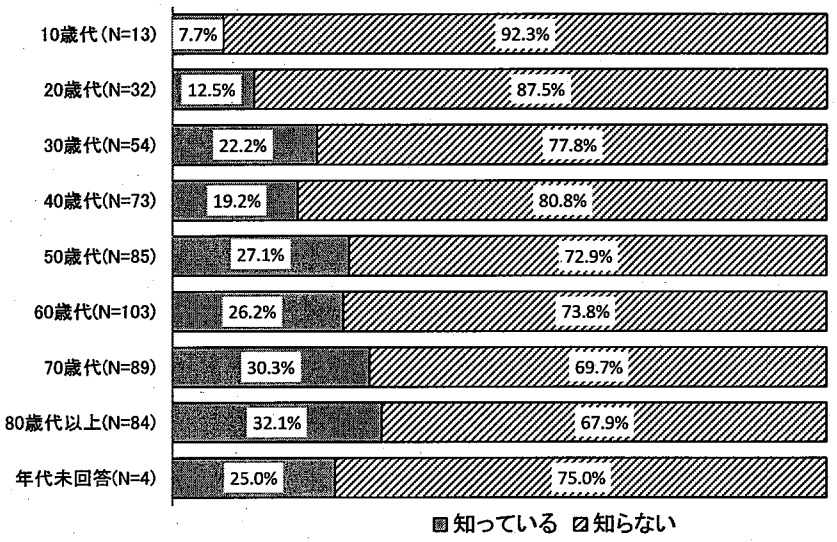

[年代別の傾向]
年代別で見ると、10代20代30代は40%程度ではありますが、50代以上の世代では70%ほどの高い認知度となっています。

④女性支援法



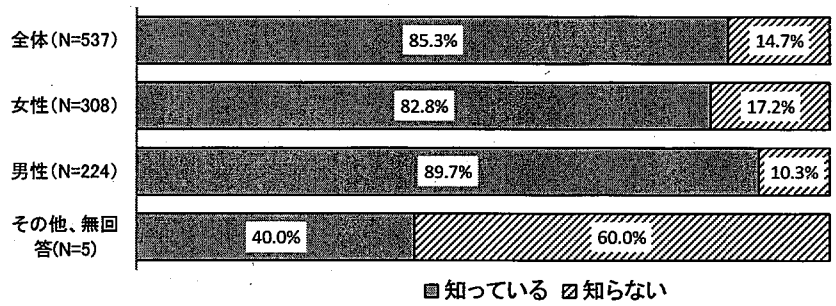

[全体の傾向]
「困難女性支援法」については、「知っている」と回答した割合は25.3%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が27.3%、男性が23.2%と、認知度の差異はあまり見られませんでした。



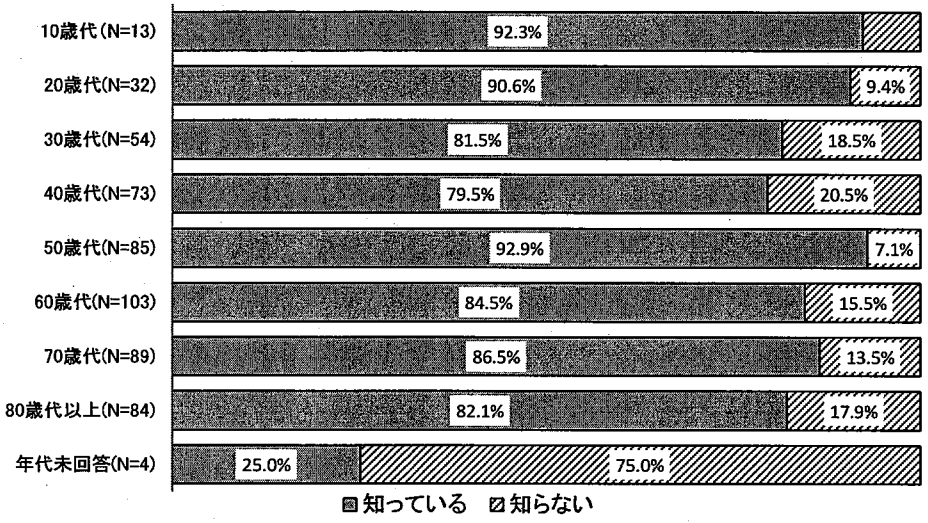

[年代別の傾向]
年代別で見ると、80代以上の認知度が最も高く32.1%、次いで70代が30.3%となっています。10代20代40代の認知度は、20%を下回っています。

⑤ジェンダー平等



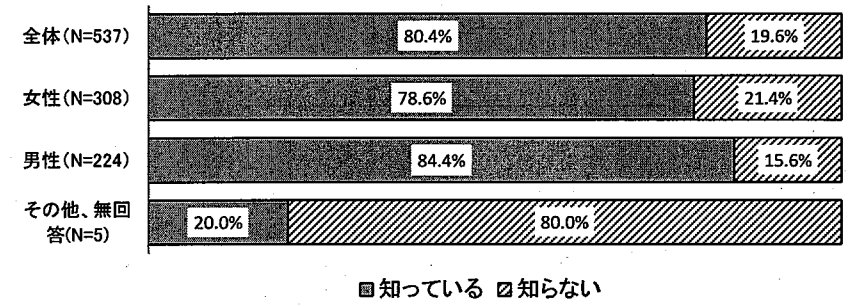

[全体の傾向]
「ジェンダー平等」の認知度については、「知っている」と回答した割合が85.3%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が82.8%、男性が89.7%で、男性の方がやや認知度が高くなっています。



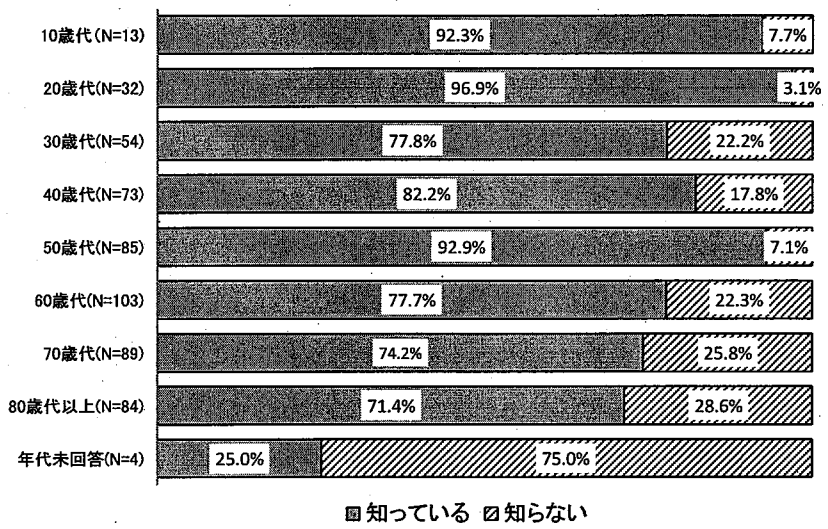

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、幅広い世代で高く、特に10代20代50代の認知度が90%を超えています。

⑥多様性社会



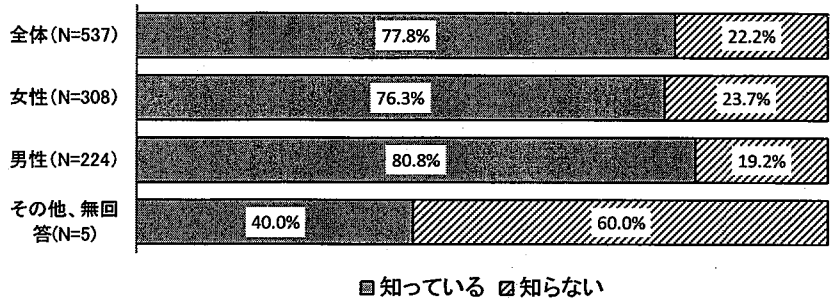

[全体の傾向]
「多様性社会」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が80.4%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が78.6%、男性が88.4%で、男性の認知度がやや高くなっています。



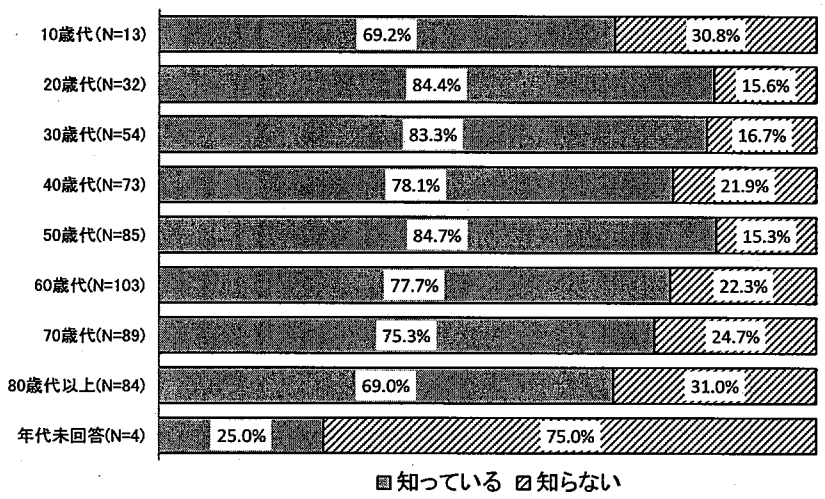

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、幅広い世代で高く、特に10代20代50代の認知度は90%を超えています。

⑦性的マイノリティ



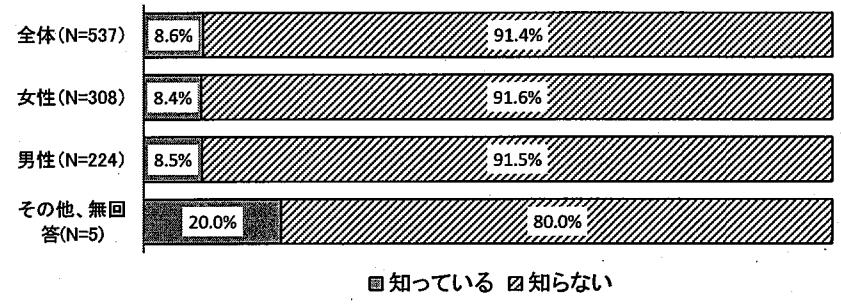

[全体の傾向]
「性的マイノリティ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が77.8%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が76.3%、男性が80.8%で、大きな差異はありませんでした。



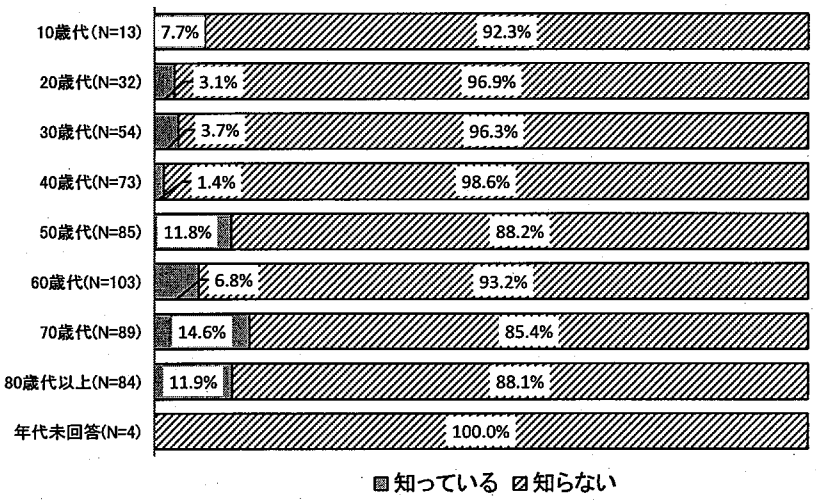

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、50代が84.7%と最も高く、20代(84.4%)、30代(83.3%)が続きます。

⑧茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画



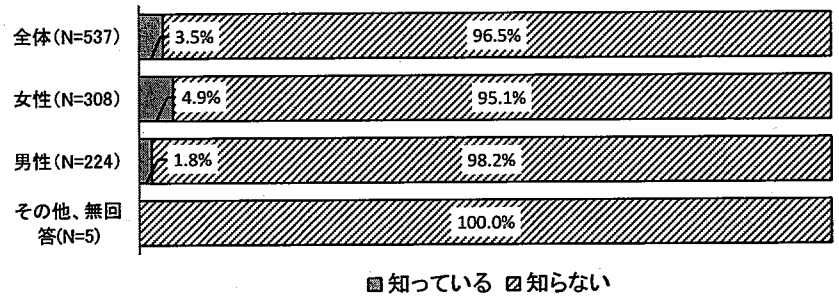

[全体の傾向]
「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が8.6%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が8.4%、男性が8.5%となっており、大きな差異はありませんでした。



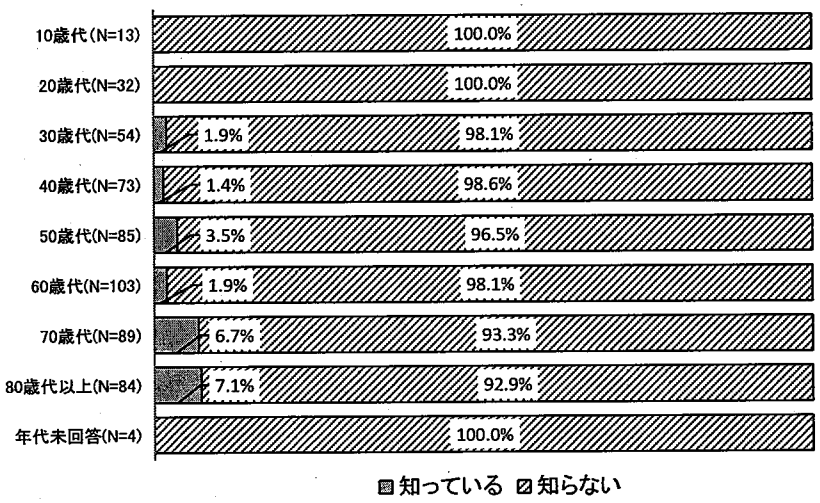

[年代別の傾向]
年代別に見ると70代の認知度が最も高く14.6%、80代以上が11.9%、50代が11.8%となっています。20代から40代の認知度が5%を下回るため、計画の普及啓発が必要です。

⑨本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組



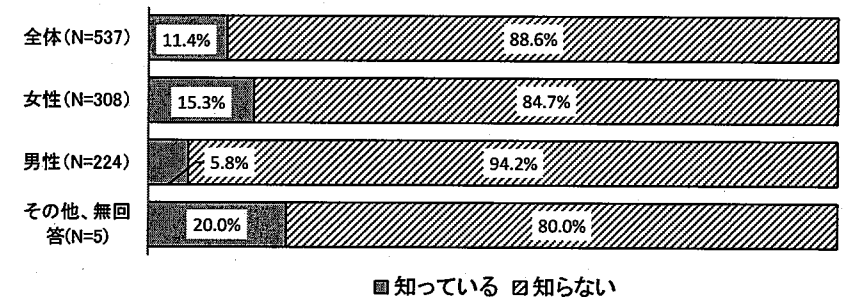

[全体の傾向]
「本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組」については、「知っている」と回答した割合が3.5%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が4.9%、男性が1.8%となっています。



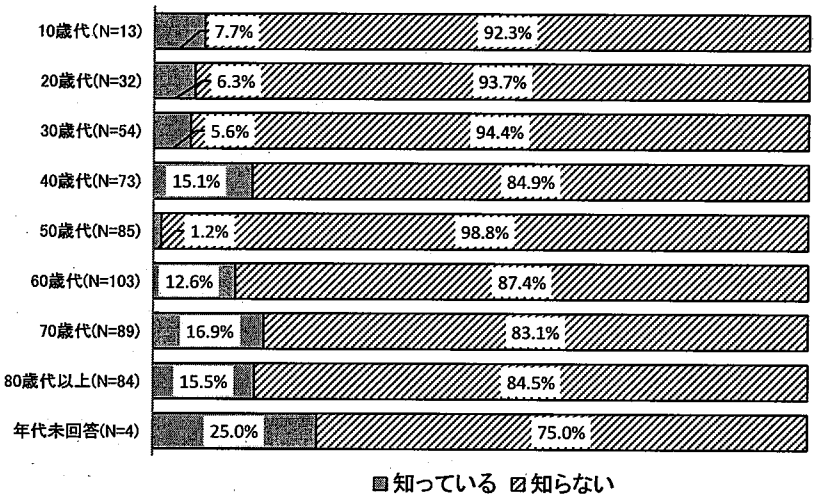

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、最も高い80代以上でも7.1%にとどまり、10代20代に至っては0%となっています。茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画に基づく取組の実施を通じて普及啓発を行う必要があります。

⑩茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ




[全体の傾向]
「茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が11.4%となっています。

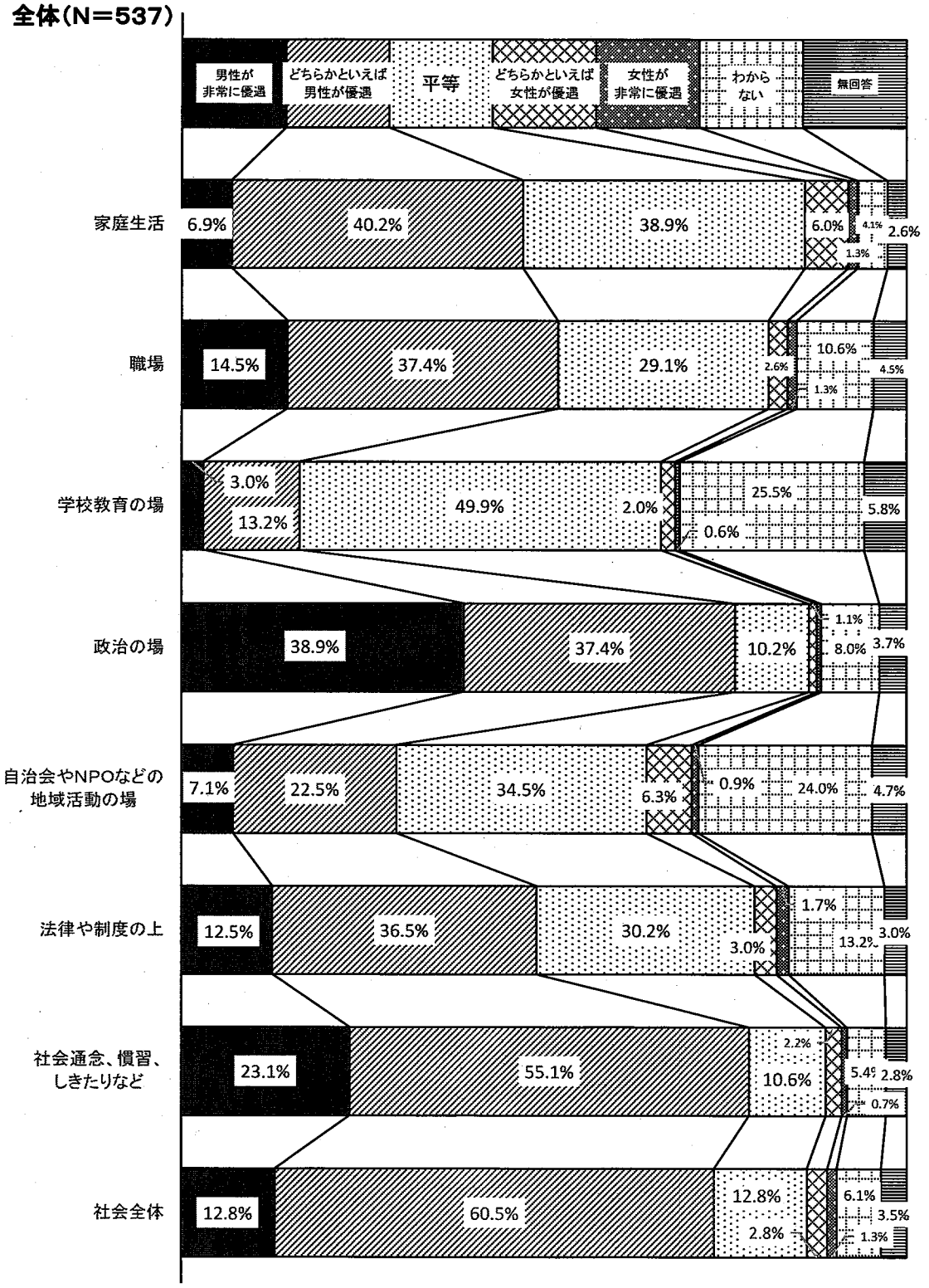
[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が15.3%、男性が5.8%となっています。




[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、70代が16.9%と最も高く、80代以上(15.5%)、40代(15.1%)が続いています。

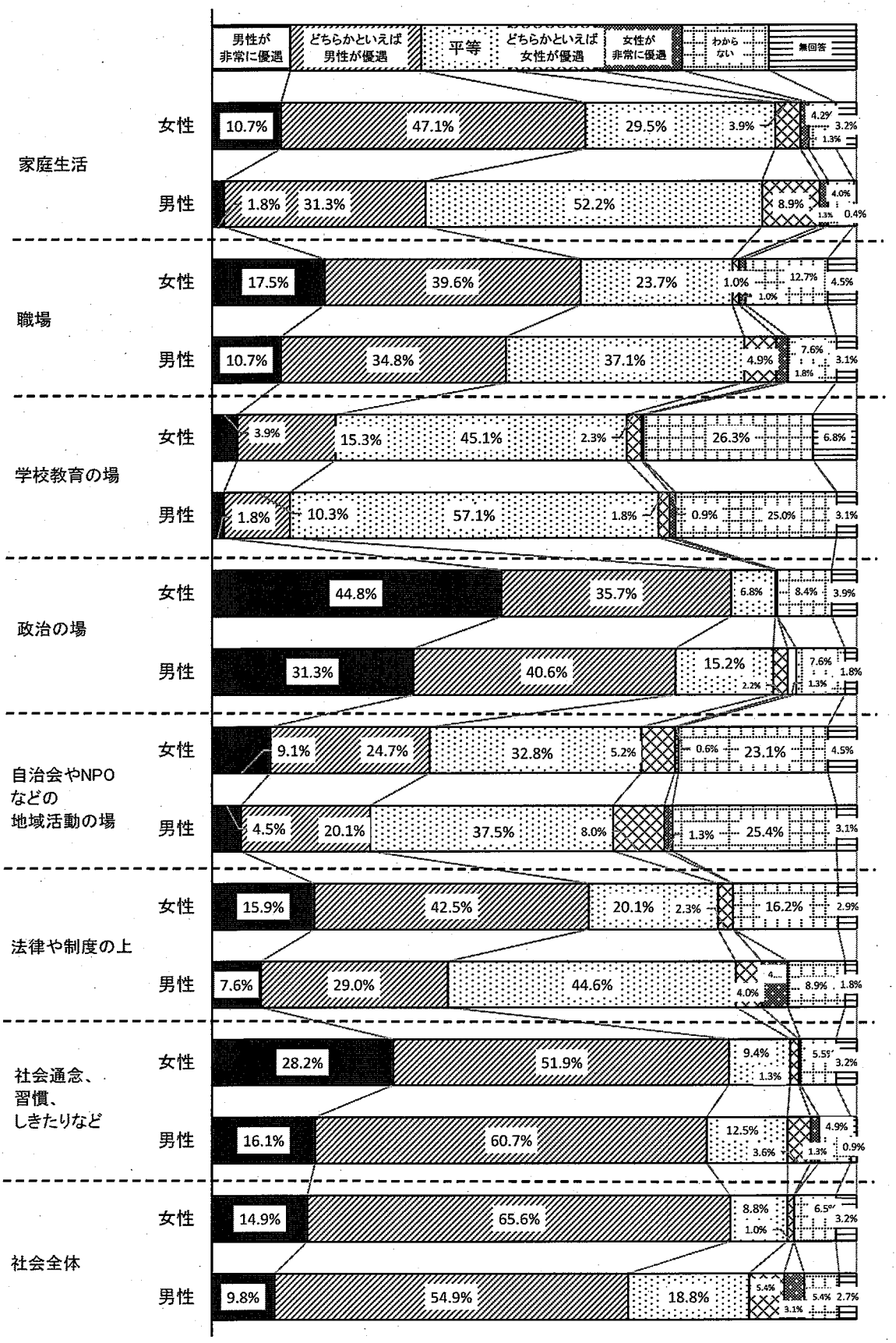
（2） 男女の地位の平等の考え方について

**問８　あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。**




［全体の傾向］

男女の地位については、「学校教育の場」では「平等」と回答した割合が49.9%となっている一方、全体としては、多くの場面で男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。




［男女別の傾向］

性別で見ると、男女ともに、特に「政治の場」、「社会通念、慣習、しきたりなど」、「社会全体」において、男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあり、女性の方が「男性が非常に優遇」と回答した割合が高くなっています。

[年代別の傾向]

| ① 家庭生活 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 7.7% | 7.7% | 53.8% | 23.1% | 0.0% | 7.7% | 0.0 |
| 20歳代 | 0.0% | 31.3% | 65.6% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 30歳代 | 3.7% | 37.0% | 46.3% | 5.6% | 0.0% | 5.6% | 1.9% |
| 40歳代 | 16.4% | 27.4% | 39.7% | 9.6% | 1.4% | 5.5% | 0.0% |
| 50歳代 | 7.1% | 43.5% | 36.5% | 5.9% | 2.4% | 3.5% | 1.2% |
| 60歳代 | 5.8% | 47.6% | 36.9% | 3.9% | 1.9% | 3.9% | 0.0% |
| 70歳代 | 7.9% | 44.9% | 34.8% | 5.6% | 1.1% | 4.5% | 1.1% |
| 80歳代以上 | 3.6% | 46.4% | 31.0% | 4.8% | 1.2% | 3.6% | 9.5% |
| 無回答 | 0.0% | 0.0% | 25.0% | 23.1% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

| ② 職場 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 7.7% | 30.8% | 15.4% | 7.7% | 0.0% | 38.5% | 0.0% |
| 20歳代 | 6.3% | 37.5% | 43.8% | 3.1% | 0.0% | 9.4% | 0.0% |
| 30歳代 | 16.7% | 40.7% | 33.3% | 1.9% | 0.0% | 7.4% | 0.0% |
| 40歳代 | 6.8% | 32.9% | 42.5% | 4.1% | 2.7% | 11.0% | 0.0% |
| 50歳代 | 14.1% | 34.1% | 41.2% | 3.5% | 2.4% | 4.7% | 0.0% |
| 60歳代 | 16.5% | 37.9% | 34.0% | 1.0% | 1.9% | 7.8% | 1.0% |
| 70歳代 | 21.3% | 40.4% | 7.9% | 4.5% | 0.0% | 18.0% | 7.9% |
| 80歳代以上 | 15.5% | 40.5% | 16.7% | 0.0% | 1.2% | 10.7% | 15.5% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

| ③ 学校教育の場 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 0.0% | 7.7% | 76.9% | 15.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 20歳代 | 0.0% | 6.3% | 68.8% | 9.4% | 0.0% | 15.6% | 0.0% |
| 30歳代 | 3.7% | 11.1% | 48.1% | 1.9% | 0.0% | 35.2% | 0.0% |
| 40歳代 | 0.0% | 15.1% | 53.4% | 0.0% | 0.0% | 31.5% | 0.0% |
| 50歳代 | 2.4% | 16.5% | 49.4% | 2.4% | 1.2% | 27.1% | 1.2% |
| 60歳代 | 2.9% | 17.5% | 47.6% | 1.9% | 0.0% | 29.1% | 1.0% |
| 70歳代 | 9.0% | 10.1% | 47.2% | 1.1% | 0.0% | 23.6% | 9.0% |
| 80歳代以上 | 1.2% | 11.9% | 45.2% | 0.0% | 2.4% | 19.0% | 20.2% |
| 無回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |

| ④ 政治の場 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 30.8% | 30.8% | 7.7% | 0.0% | 0.0% | 30.8% | 0.0% |
| 20歳代 | 50.0% | 40.6% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | 6.3% | 0.0% |
| 30歳代 | 55.6% | 29.6% | 3.7% | 0.0% | 0.0% | 11.1% | 0.0% |
| 40歳代 | 45.2% | 31.5% | 6.8% | 1.4% | 0.0% | 13.7% | 1.4% |
| 50歳代 | 41.2% | 41.2% | 14.1% | 2.4% | 0.0% | 1.2% | 0.0% |
| 60歳代 | 39.8% | 40.8% | 11.7% | 1.0% | 1.9% | 4.9% | 0.0% |
| 70歳代 | 38.2% | 38.2% | 12.4% | 1.1% | 0.0% | 6.7% | 3.4% |
| 80歳代以上 | 18.0% | 37.1% | 12.4% | 1.1% | 1.1% | 10.1% | 14.6% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

| ⑤ 自治会やNPOなどの地域活動の場 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 0.0% | 0.0% | 38.5% | 7.7% | 0.0% | 53.8% | 0.0% |
| 20歳代 | 9.4% | 21.9% | 28.1% | 6.3% | 0.0% | 34.4% | 0.0% |
| 30歳代 | 5.6% | 24.1% | 20.4% | 9.3% | 1.9% | 38.9% | 0.0% |
| 40歳代 | 13.7% | 21.9% | 19.2% | 6.8% | 1.4% | 35.6% | 1.4% |
| 50歳代 | 3.5% | 25.9% | 36.5% | 3.5% | 2.4% | 25.9% | 2.4% |
| 60歳代 | 6.8% | 24.3% | 41.7% | 8.7% | 0.0% | 17.5% | 1.0% |
| 70歳代 | 9.0% | 27.0% | 37.1% | 5.6% | 0.0% | 15.7% | 5.6% |
| 80歳代以上 | 4.8% | 15.5% | 46.4% | 4.8% | 1.2% | 11.9% | 15.5% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

| ⑥ 法律や制度の上 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 0.0% | 15.4% | 53.8% | 0.0% | 0.0% | 30.8% | 0.0% |
| 20歳代 | 15.6% | 28.1% | 37.5% | 6.3% | 3.1% | 9.4% | 0.0% |
| 30歳代 | 24.1% | 31.5% | 18.5% | 5.6% | 5.6% | 14.8% | 0.0% |
| 40歳代 | 13.7% | 35.6% | 24.7% | 6.8% | 2.7% | 16.4% | 0.0% |
| 50歳代 | 11.8% | 42.4% | 28.2% | 4.7% | 1.2% | 11.8% | 0.0% |
| 60歳代 | 12.6% | 41.7% | 28.2% | 0.0% | 1.9% | 13.6% | 1.9% |
| 70歳代 | 12.4% | 40.4% | 36.0% | 1.1% | 0.0% | 7.9% | 2.2% |
| 80歳代以上 | 6.0% | 31.0% | 35.7% | 1.2% | 0.0% | 15.5% | 10.7% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

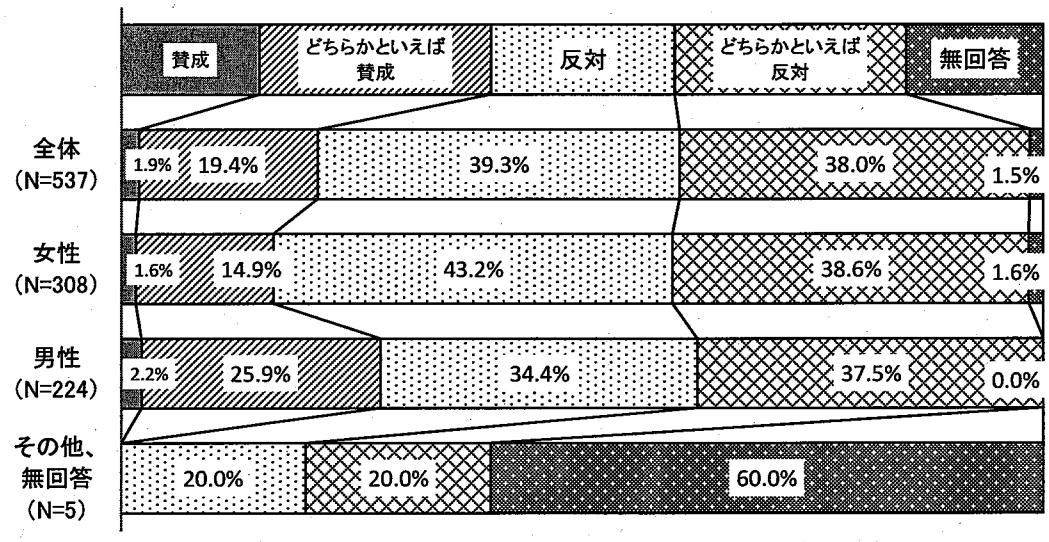
| ⑦ 社会通念、慣習、しきたりなど | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 15.4% | 46.2% | 7.7% | 0.0% | 0.0% | 30.8% | 0.0% |
| 20歳代 | 9.4% | 65.6% | 15.6% | 6.3% | 0.0% | 3.1% | 0.0% |
| 30歳代 | 42.6% | 38.9% | 9.3% | 1.9% | 1.9% | 5.6% | 0.0% |
| 40歳代 | 32.9% | 46.6% | 12.3% | 2.7% | 0.0% | 5.5% | 0.0% |
| 50歳代 | 22.4% | 61.2% | 10.6% | 1.2% | 1.2% | 3.5% | 0.0% |
| 60歳代 | 20.4% | 56.3% | 12.6% | 1.9% | 1.9% | 5.8% | 1.0% |
| 70歳代 | 29.2% | 51.7% | 6.7% | 4.5% | 0.0% | 5.6% | 2.2% |
| 80歳代以上 | 7.1% | 67.9% | 10.7% | 0.0% | 0.0% | 3.6% | 10.7% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

| ⑧ 社会全体 | 男性が非常に優遇 | どちらかといえば男性が優遇 | 平等 | どちらかといえば女性が優遇 | 女性が非常に優遇 | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10歳代 | 0.0% | 46.2% | 15.4% | 0.0% | 0.0% | 38.5% | 0.0% |
| 20歳代 | 6.3% | 56.3% | 25.0% | 3.1% | 0.0% | 9.4% | 0.0% |
| 30歳代 | 16.7% | 63.0% | 5.6% | 5.6% | 1.9% | 7.4% | 0.0% |
| 40歳代 | 19.2% | 54.8% | 13.7% | 2.7% | 2.7% | 6.8% | 0.0% |
| 50歳代 | 10.6% | 63.5% | 12.9% | 4.7% | 1.2% | 7.1% | 0.0% |
| 60歳代 | 15.5% | 66.0% | 10.7% | 1.0% | 1.9% | 3.9% | 1.0% |
| 70歳代 | 14.6% | 67.4% | 9.0% | 3.4% | 0.0% | 1.1% | 4.5% |
| 80歳代以上 | 7.1% | 52.4% | 19.0% | 1.2% | 1.2% | 6.0% | 13.1% |
| 無回答 | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% |

多くの場面で、年代によらず、男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。

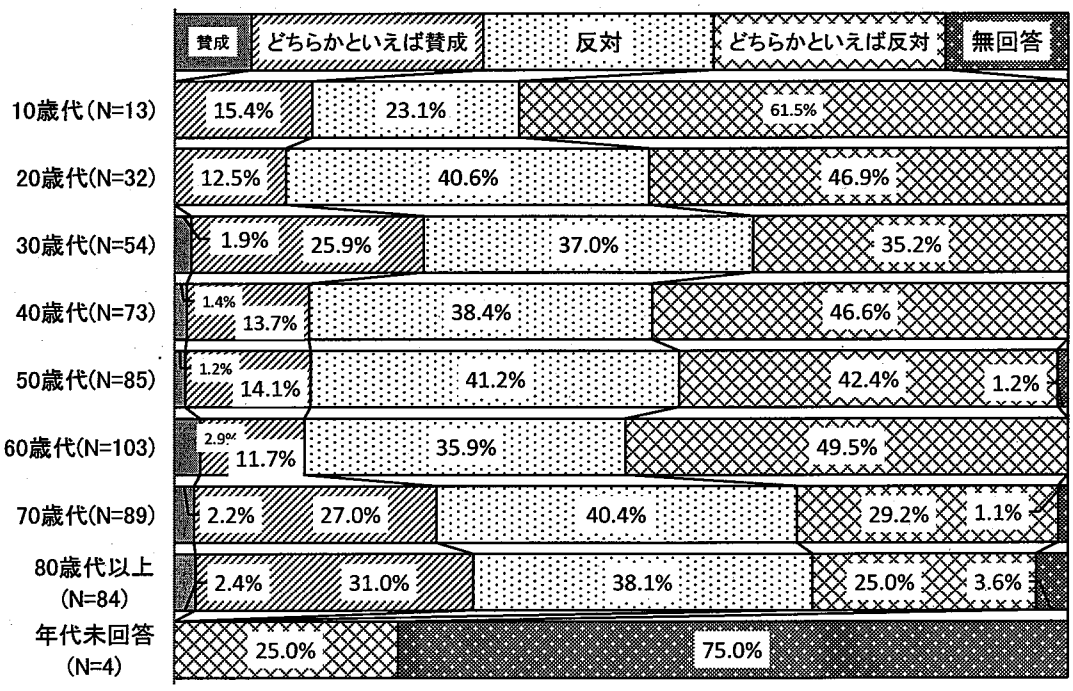
（3）「男は仕事、女は家庭」という考え方について

**問９　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、どうお考えですか。**




［全体の傾向］
固定的性別役割分担意識については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は77.3%で、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合（21.3%）より56ポイント高くなっています。

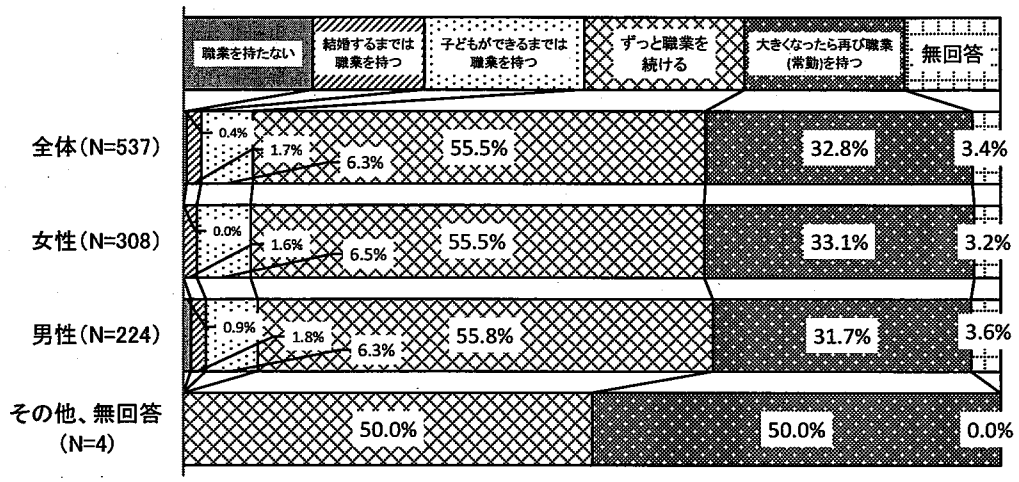
［男女別の傾向］
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が16.5%、男性が28.1%で、男性が女性より11.6ポイント高くなっています。




［年代別の傾向］
年代別で見ると、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は、20代が87.5%と最も高く、60代(85.4%)、40代(85.0%)、20代(84.6%)が続きます。

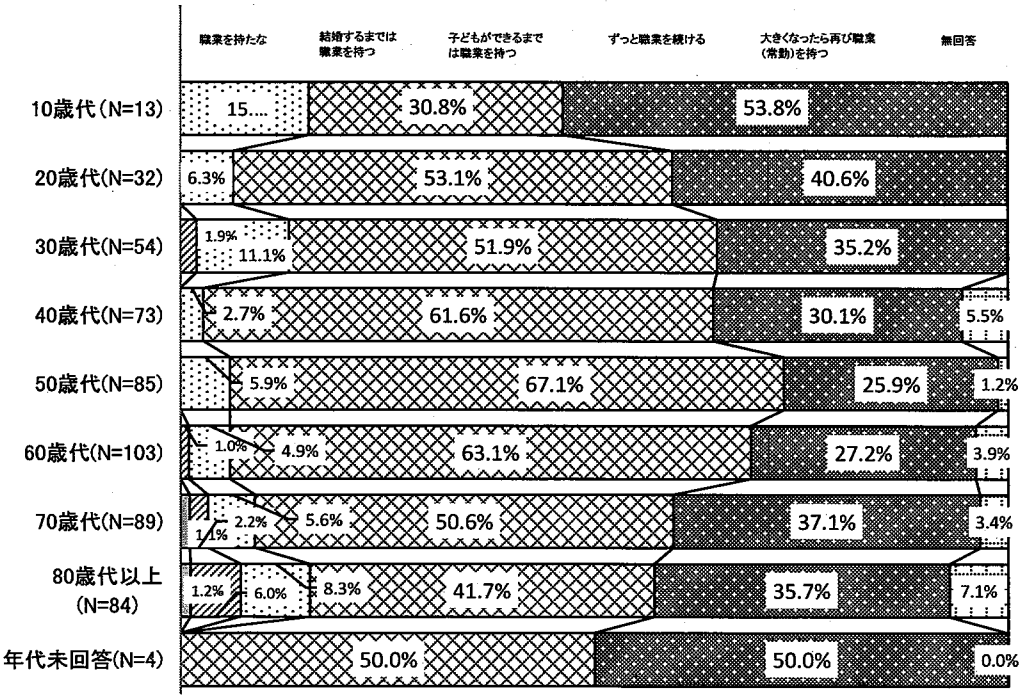
（4） 一般的に女性が職業を持つことについて

## 問１０　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。




[全体の傾向]
「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が55.5%で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(32.8%)が続きます。

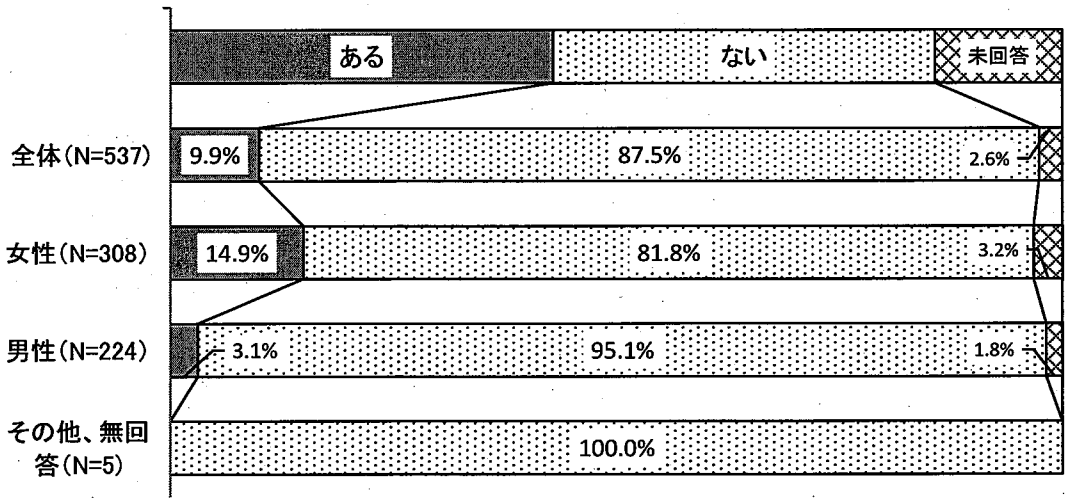
[男女別の傾向]
性別で見ると、男女共に、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合が最も多く、女性が55.5%、男性が55.8%で、大きな差は見られませんでした。




[年代別の傾向]
年代別で見ると、「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」と回答した割合は、50代が67.1%で最も高く、60代(63.1%)、40代(61.6%)が続きます。また、「女性は職業を持たない方がよい」または「結婚するまでは職業を持つ方がよい」と回答した割合は、全ての年代で6%以下と低くなっています。

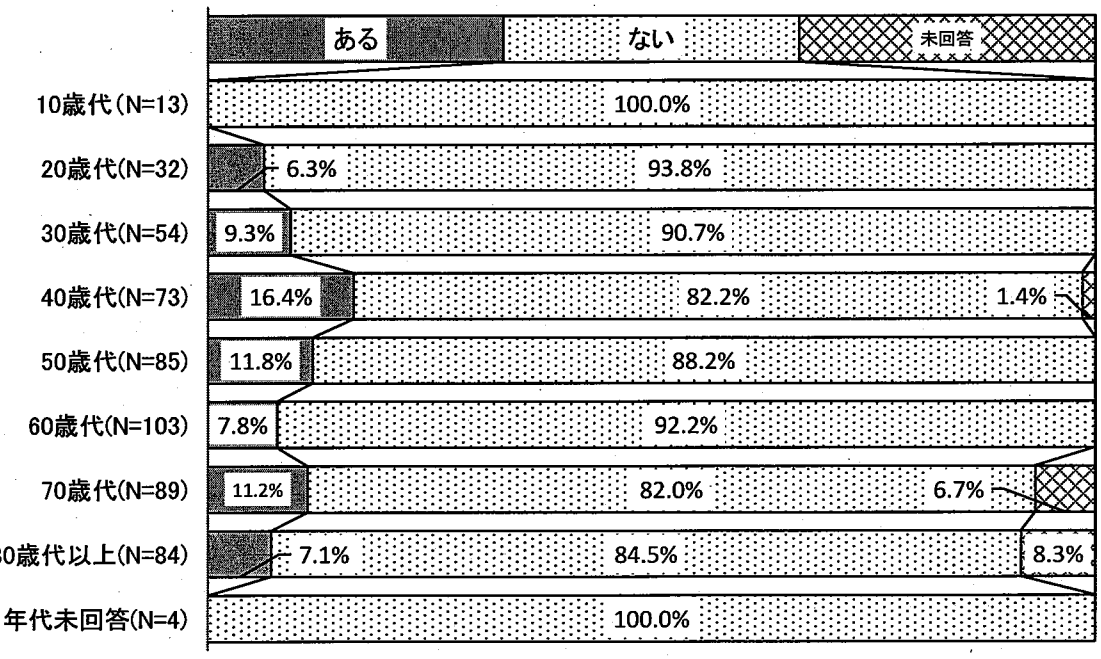
（5） 配偶者・パートナー間における暴力の経験について

**問１１（１） あなたは、配偶者や恋人などパートナーから暴力を受けたことはありますか。**



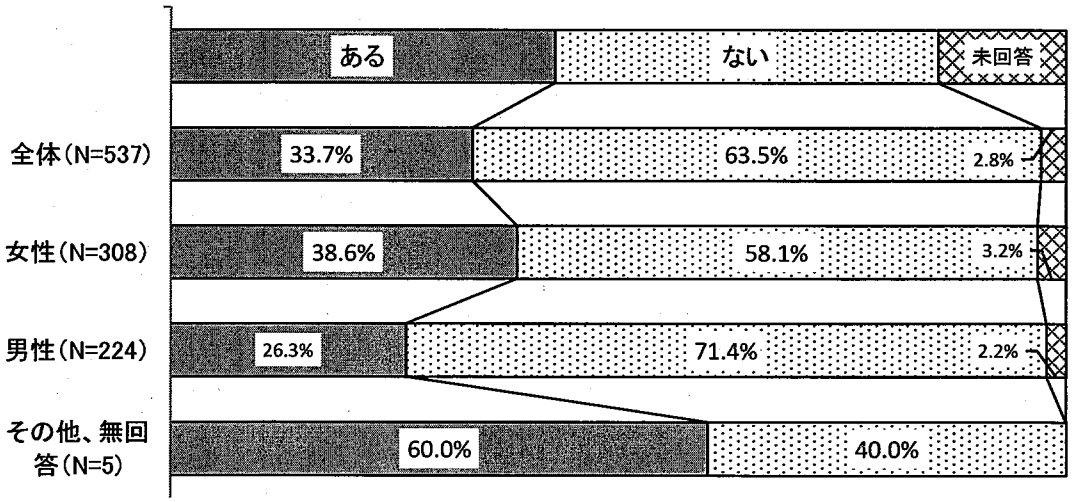

[全体の傾向]
配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「受けたことがある」と回答した割合は9.9%でした。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、女性が14.9%、男性は3.1%と、女性が男性より高い結果となっています。



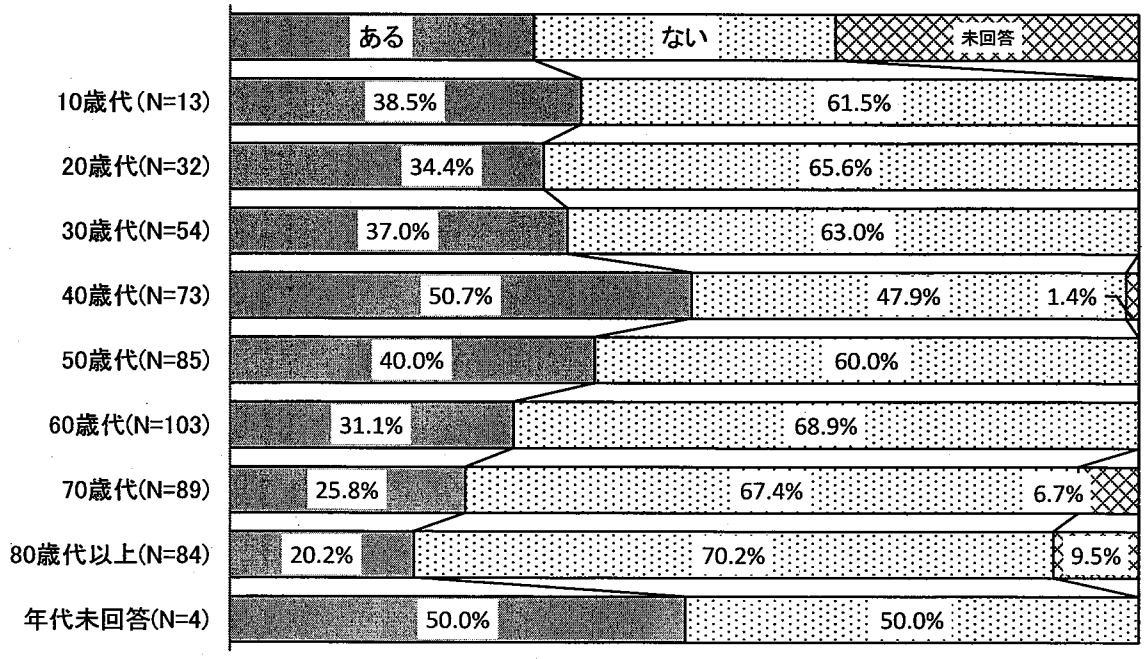

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「暴力を受けたことがある」と回答した割合は、40代が16.4%で最も高く、50代（11.8%）、70代（11.2%）が続きます。

## 問１１（２）　身近で見聞きした経験はありますか。




[全体の傾向]
配偶者・パートナー間で行われる暴力について、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は33.7%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、女性が38.6%、男性は26.3%と、女性が男性より高い結果となっています。

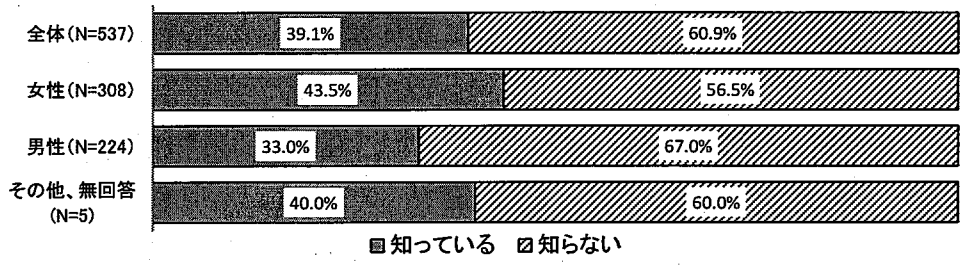



[年代別の傾向]
年代別で見ると、「身近で見聞きした経験がある」と回答した割合は、40代が50.7%で最も高く、50代(40.0%)、10代(38.5%)が続きます。

**問１２　配偶者や恋人などパートナーからの暴力被害等の相談先として知っている窓口にすべて○をしてください。**

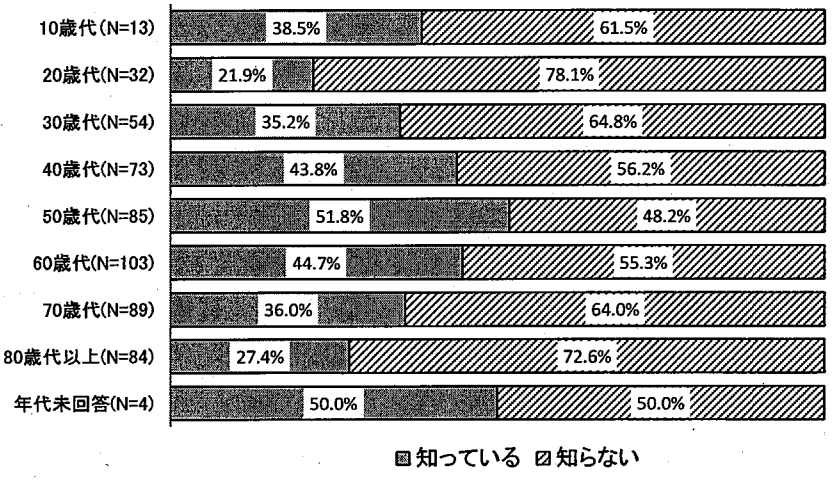
１女性の人権ホットライン（法務書）、２インターネットと人権相談受付窓口（法務書）、３警察総合相談室（警察）、４性犯罪１１０番（警察）、５女性のためのＤＶ相談（神奈川県）、６男性のためのＤＶ相談（神奈川県）、７女性のための相談室（茅ヶ崎市）、８人権相談（茅ヶ崎市）

①女性の人権ホットライン（法務省）



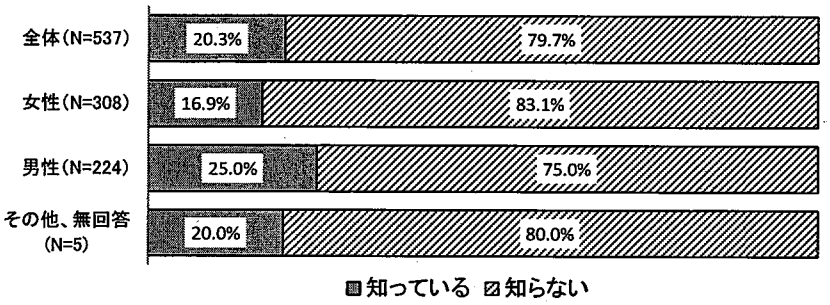

[全体の傾向]
「女性の人権ホットライン」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合は39.1%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が43.5%、男性が33.0%となっています。



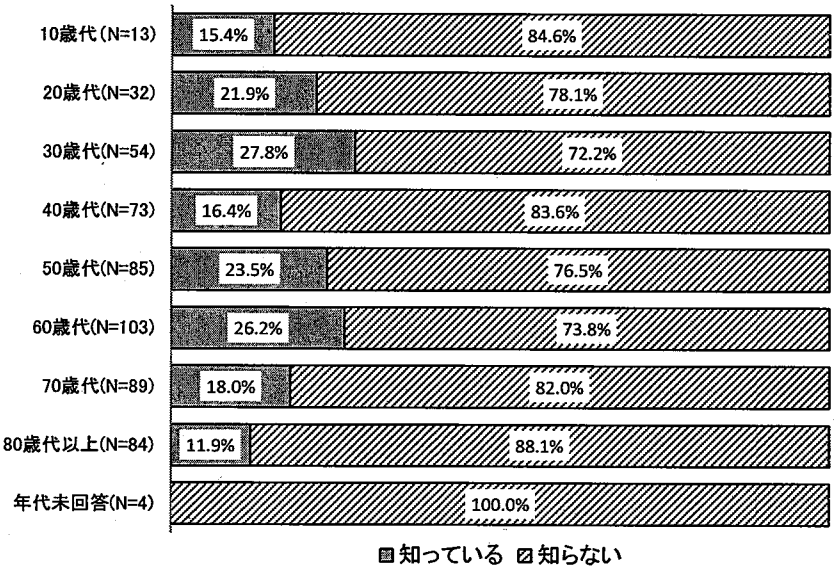

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、50代が51.8%で最も高く、60代（44.7%）、40代（43.8%）が続きます。20代が最も低く21.9%となっています。

②インターネット人権相談受付窓口（法務省）



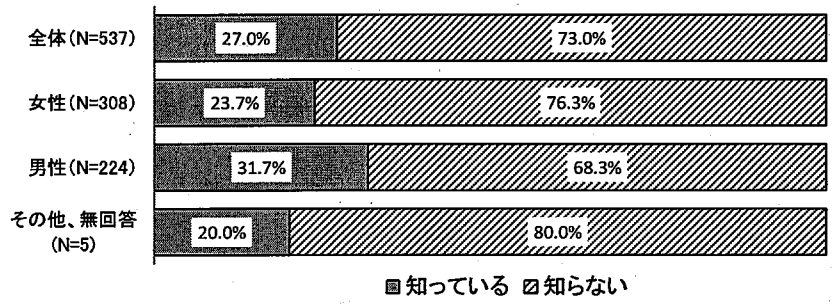

［全体の傾向］
「インターネット人権相談受付窓口（法務省）」については、認知度が低く「知っている」と回答した割合は20.3%でした。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が16.9%、男性が25.0%となっています。



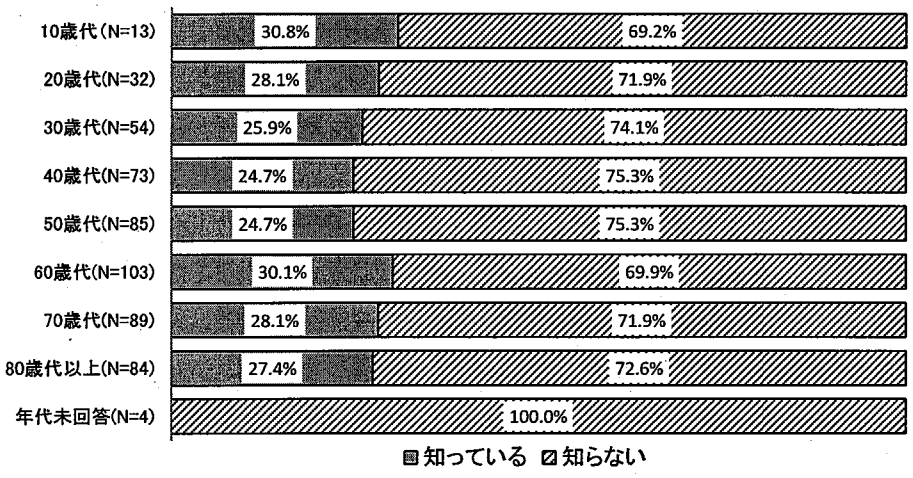

［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、30代が27.8%で最も高く、60代（26.2%）、50代（23.5%）が続きます。

③警察総合相談室（警察）



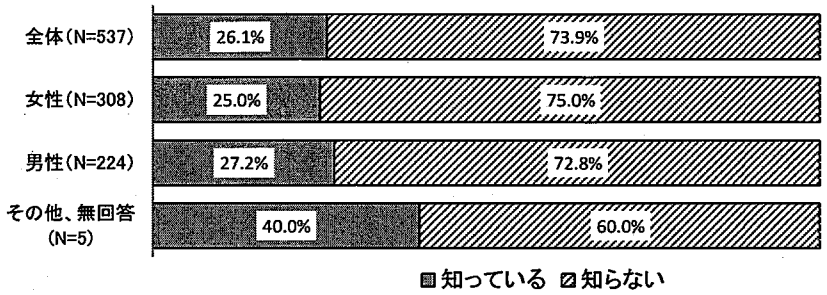

［全体の傾向］
「警察総合相談室（警察）」については、「知っている」と回答した割合は、27.0%となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が23.7%、男性が31.7%となっています。



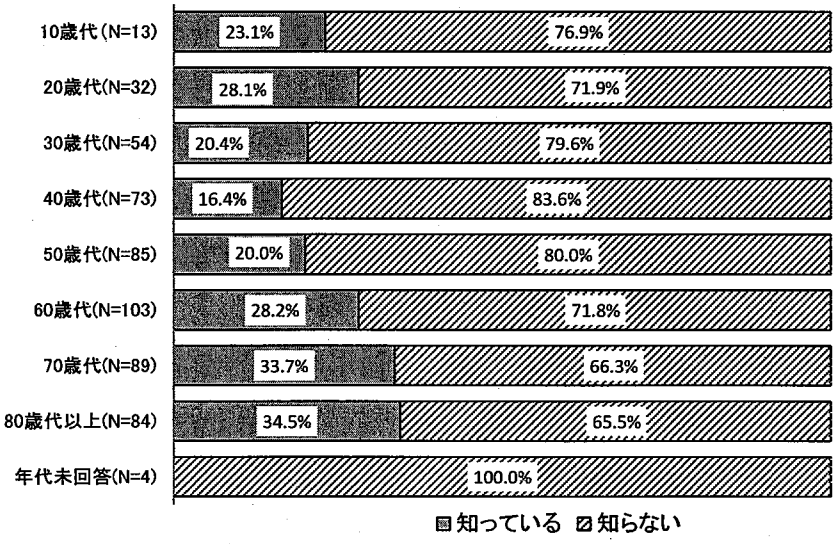

［年代別の傾向］
年代別の認知度としては、おおむね25～30%と、年代別に大きな差はありませんでした。

④性犯罪110番（警察）



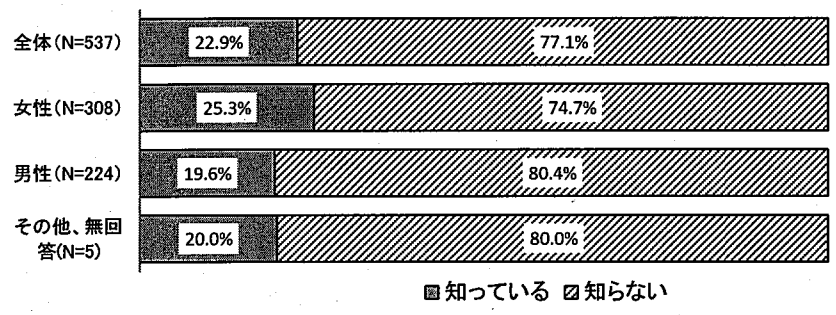

［全体の傾向］
「性犯罪110番（警察）」については、「知っている」と回答した割合は26.1%となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が25.0%、男性が27.2%となっています。



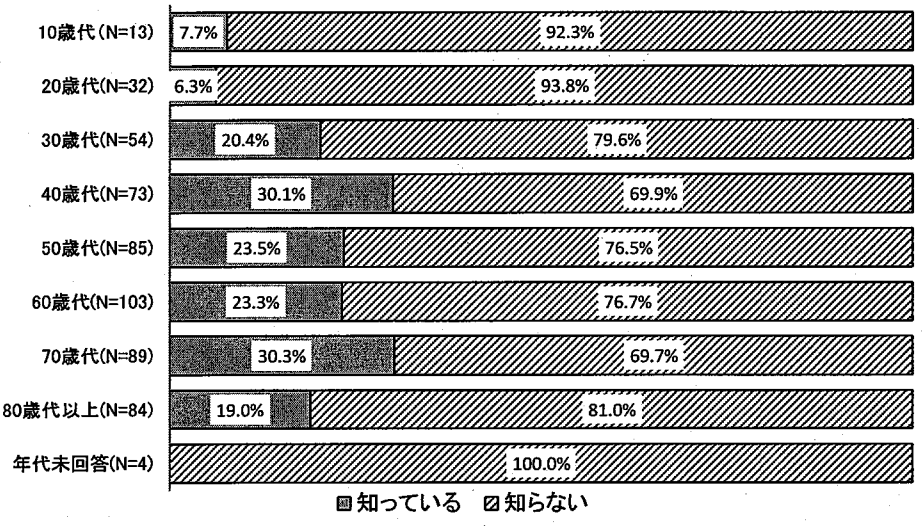

［年代別の傾向］
年代別の認知度としては、80代以上が34.5%、70代（33.7%）、60代（28.2）%、となっており、最も低い40代は16.4%となっています。

⑤女性のためのDV相談（神奈川県）



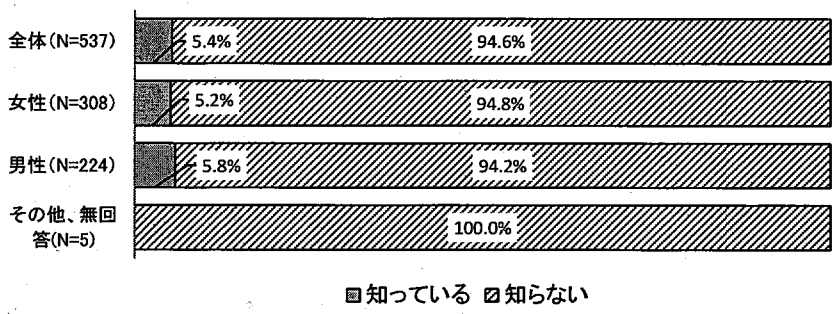

［全体の傾向］
「女性のためのDV相談（神奈川県）」を知っていると回答した割合は、22.9%となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が25.3%、男性が19.6%となっています。



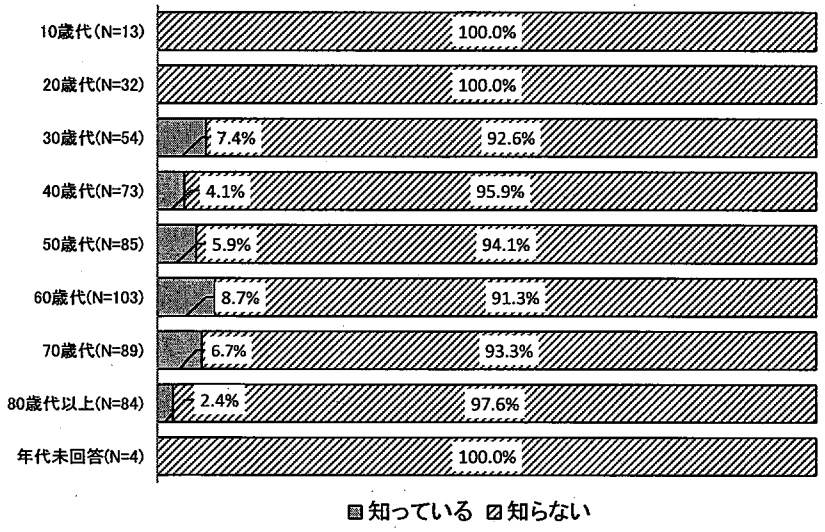

［年代別の傾向］
年代別の認知度としては、70代が一番高く30.3%となっていますが、10代は7.7%、20代は6.3%と、若年層の認知度が低くなっています。

⑥男性のためのDV相談（神奈川県）



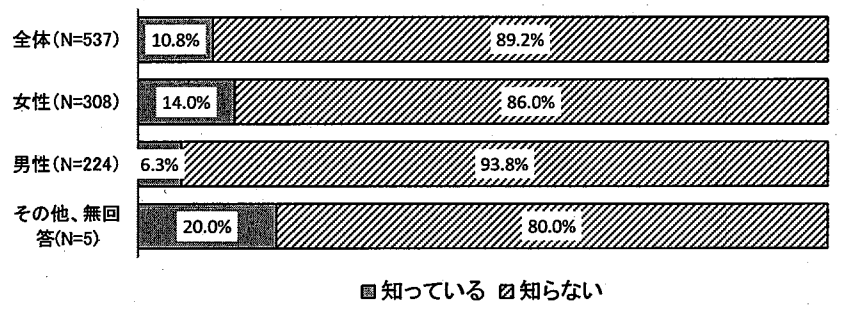

［全体の傾向］
「男性のためのDV相談（神奈川県）」の全体の認知度については、認知度が低く、「知っている」と回答した割合が5.4%となっています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が5.2%、男性が5.8%となっています。



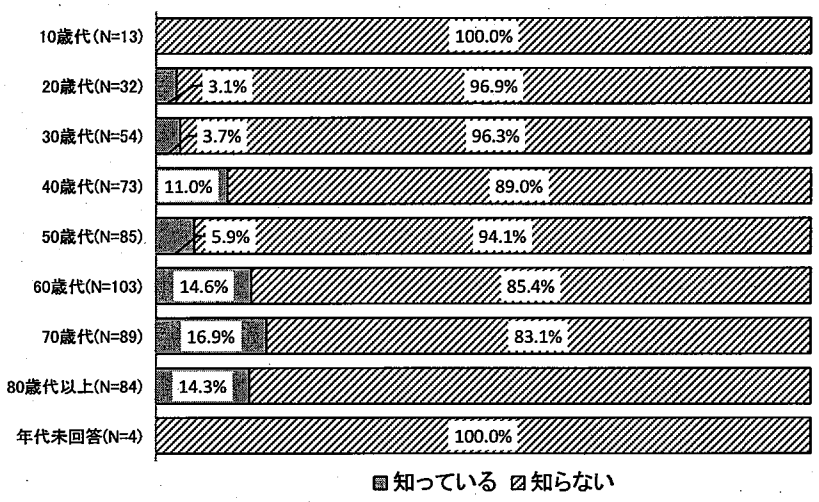

［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、60代が最も高く8.7%となっており、30代以上に大きな差はありませんでしたが、10代20代の若年層の認知度が0%となっています。

⑦女性のための相談室（茅ヶ崎市）



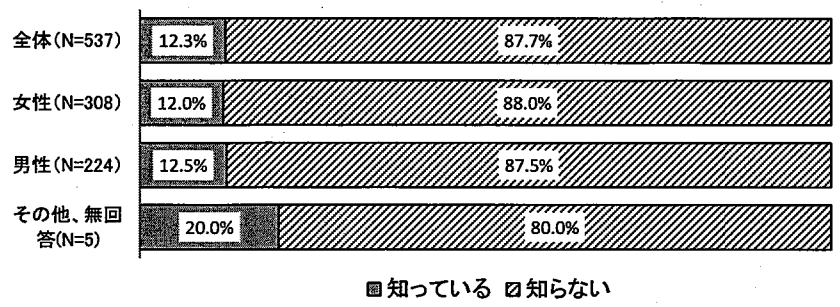

[全体の傾向]
「女性のための相談室（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が10.8%となっています。

[男女別の傾向]
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が14.0%、男性が6.3%となっております。



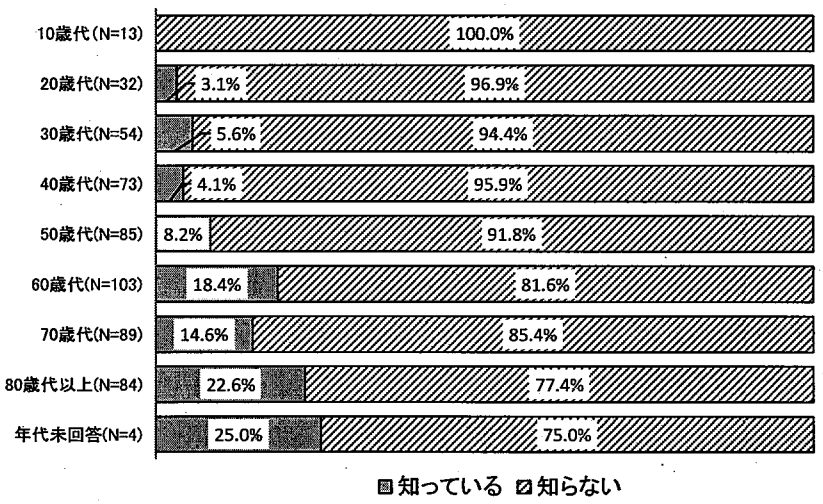

[年代別の傾向]
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、70代が16.9%と最も高く、次いで60代が14.6%、80代以上（14.3%）となっていますが、20代30代50代の認知度は6%以下と低く、10代は0%でした。

⑧人権相談（茅ヶ崎市）




［全体の傾向］
「人権相談（茅ヶ崎市）」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が12.3%となっています。

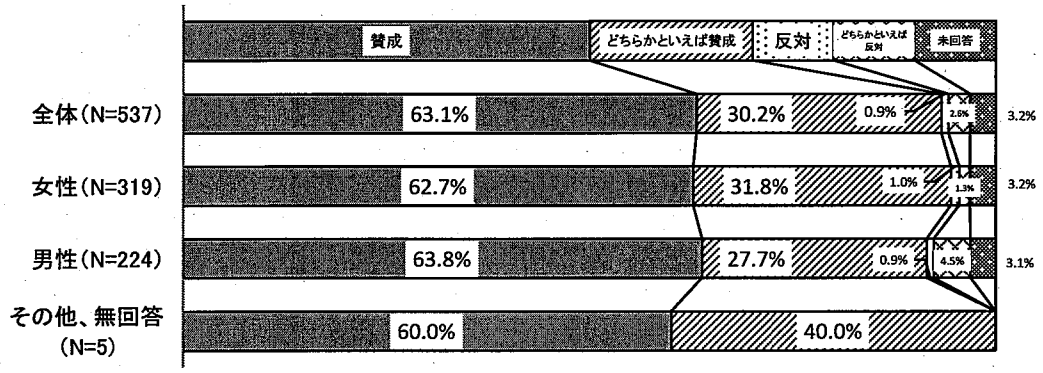
［男女別の傾向］
性別で見ると、「知っている」と回答した割合は、女性が12.0%、男性が12.5%で、性別による差はあまり見られません。




［年代別の傾向］
年代別で見ると、「知っている」と回答した割合は、80代以上が22.6%と最も高く、次いで60代が18.4%、70代（14.6%）、となっていますが、50代以下の認知度は10%未満と低く、10代は0%でした。

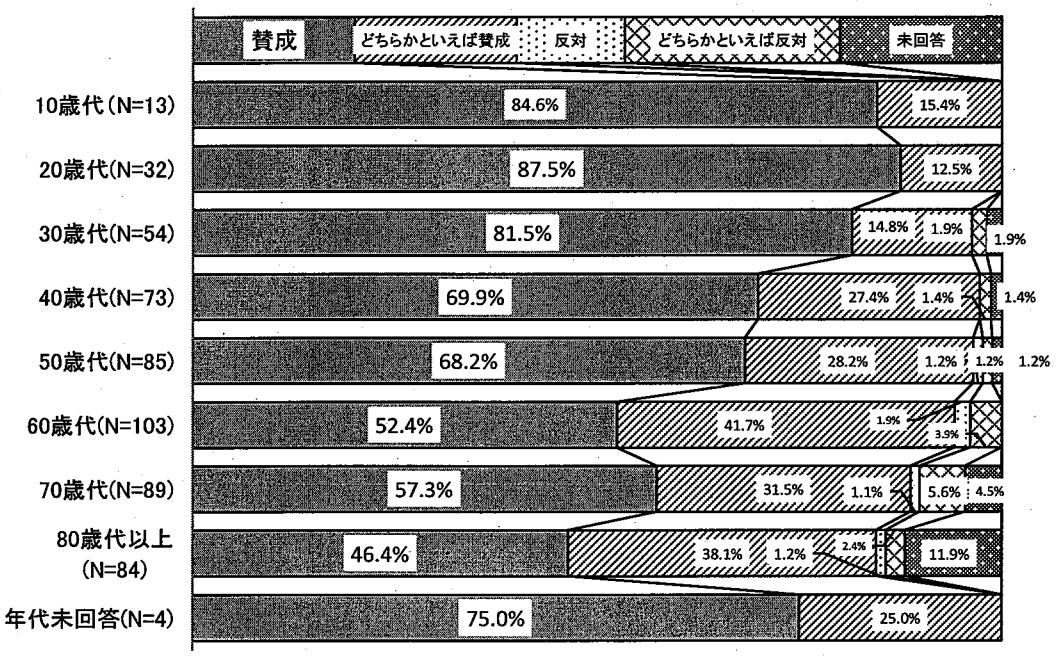
（6） 女性が妊娠・出産等について自ら決定することについて

**問１３　妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。**




［全体の傾向］
妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を女性が有するという考え方については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が93.3%と、全体の9割強を占めています。

［男女別の傾向］
性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が94.5%、男性が91.5%で、性別による差異はあまり見られません。




［年代別の傾向］
年代別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、10代20代が100%と最も高く、40代（97.3%）、50代（96.4%）が続きます。

# 第３章　調査結果のまとめ

# 第３章　調査結果のまとめ

## 1 ジェンダー平等に関する用語の認知度について

●「男女共同参画社会基本法」の全体の認知度については、「知っている」と回答した割合が64.8%（前回調査48.8%）、「女性活躍推進法」の認知度は49.5%（前回調査38.8%）、「配偶者暴力防止法」の認知度は61.6%（前回調査29.4%）、「女性支援法」の認知度は25.3%（前回調査11.9%）、「ジェンダー平等」の認知度は85.3%（前回調査70.4%）など、多くの項目で前年を上回る認知度となりました。その一方で、「茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画」の認知度は8.6%（前回調査5.7%）と、前年を上回るものの依然認知度は低く、また、「本市のジェンダー平等社会の形成に向けた取組」の認知度はわずか3.5%（前回調査3.6%）にとどまっています。茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画と、これに基づく取組の普及啓発に一層努力する必要があります。【問7】

## 2 男女の地位の平等について

●男女の地位の平等については、「学校教育の場」では「平等」と回答した割合が49.9%となっている一方、多くの場面で男性の方が優遇されていると感じている割合が高い傾向にあります。「政治の場における男女の地位の平等」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が76.3%と高く、男女の不平等感は根強く残っています。【問8】

●「男は仕事、女は家庭という固定的性別役割分担意識」については、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した割合は77.3%（前回調査68.1%）と、否定的に考える人が多くなっています。一方、性別で見ると、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合は、女性が16.5%（前回調査11.6%）、男性が28.1%（前回調査30.4%）で、男性が女性より11.6ポイント高くなっています。【問9】

## 3 女性の活躍推進について

●一般的に女性が職業を持つことについて、「子どもができても、ずっと職業を続けるほうがよい」とする就業継続を支持する回答の割合が55.5%で最も高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」（32.8%）が続きます。性別で見ると、就業継続を支持する回答の割合は、女性が55.5%（前回調査52.7%）、男性が55.8%（前回調査53.5%）となっており、性別による大きな差は見られませんでした。【問10】

## 4 配偶者暴力と女性の有する権利について

●「配偶者や恋人などのパートナーから暴力を受けたことがあるか」については、全体で9.9%（前回調査8.6%）、女性は14.9%（前回調査10.6%）、男性は3.1%（前回調査6.0%）が「ある」と回答しており、女性の割合が増加しています。【問11】

●「妊娠・出産等、自分のからだのことを自分で決める権利を、女性が有するという考え方」については、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した割合が93.3%（前回調査92.7%）となりました。さらに、性別による差がほとんどなく、一般的な考え方として広く市民に定着していると考えられます。【問13】

# 資　料　編

## ～　市からの大切なお願い　～

### ジェンダー平等社会に関するアンケートにご協力ください！

- このアンケート調査は、ジェンダー平等社会に関する市民の意識を把握することを目的としています。
- いただいた御意見は、市の施策を検討する際の基礎資料として活用いたします。
- 回答に要する時間は約５分です。

性別に関わりなく、互いに協力し合う茅ヶ崎市にするために、

# あなたの声を聞かせてください

### 回答にあたってのお願い

**１．アンケート対象者**

本アンケート調査は個人を対象としていますので、御本人が直接回答するか、御家族の方などに御助力をいただき回答してください。

**２．回答方法（インターネットまたは郵送）**

**インターネットでの回答に御協力をお願いいたします。**

**右のコードを読み込む** → **専用フォームで回答**

※郵送による回答を御希望の場合は、調査票を御記入いただき返信用封筒に入れポストに投函してください。

**３．回答期限**

令和６年１２月３１日（火）２３時５９分まで

**４．お問い合わせ**

調査について御不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

担 当 課　茅ヶ崎市　文化スポーツ部　多様性社会推進課
電　　話　０４６７－８１－７１５０（直通）
E-mail　tayousei@city.chigasaki.kanagawa.jp

※この調査は、１８歳以上の市民を対象に、１，３００人を住民基本台帳より無作為に抽出して実施しています。

回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理するため個人が特定されることはありません。

また、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、この目的以外には使用することはありません。

# 令和６年度ジェンダー平等社会に関するアンケート　回答票

設問に対する答えは、用意されている選択肢の**番号を○で囲んでください。**
また、**１つだけ選んでいただく設問と複数選んでいただく設問がありますので、御注意ください。**

## はじめに、御自身・御家族のことについてお伺いします

問１　あなたの性別を教えてください。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．女性 | ２．男性 |
| ３．（　　） | |

※　この調査では、ジェンダー平等社会に関する意識や生活の実態を把握・分析するために、性別をお伺いします。また、性別は多様であるという観点から自由記載欄を設けています。

問２　あなたの年齢を教えてください。（○は1つだけ）

| | | |
|---|---|---|
| １．10 代 | ２．20 代 | ３．30 代 |
| ４．40 代 | ５．50 代 | ６．60 代 |
| ７．70 代 | ８．80 代以上 | |

問３　あなたの主な職業は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

| |
|---|
| １．正規の職員、従業員（会社員、公務員、団体職員等※役員も含む） |
| ２．非正規の職員、従業員（契約社員、派遣社員等、パートタイマー、アルバイト） |
| ３．家事従事者（専業主婦・主夫等※家族等の介護も含む） |
| ４．自営業主（農林漁業、商工業、サービス業等※家族従業者を含む） |
| ５．学生（高校生、専門学校、短大、大学生等※予備校を含む） |
| ６．無職 |
| ７．その他（　　） |

問４　あなたの世帯の構成は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．単身 | ２．配偶者・パートナーのみ |
| ３．二世代世帯（親子） | ４．三世代世帯（祖父母と親子） |
| ５．その他　（　　） | |

問５　現在、あなたが育てている子はいますか。（○は１つだけ）

| | |
|---|---|
| １．いる | ２．いない |

問５－１　「１．いる」と回答した方の１番下のお子さんの年齢区分をお答えください。（○は１つだけ）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １．就学前 | ２．小学生 | ３．中学生 | ４．中学卒業以上で１８歳未満 | ５．１８歳以上 |

問６　現在、あなたが介護している親族はいますか。（○は１つだけ）

| | |
|---|---|
| １．いる | ２．いない |

問７　次のうち、聞いたことがある言葉や取組に**すべて**○をしてください。

| | |
|---|---|
| １．男女共同参画社会基本法<br>（男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の総合的かつ計画的に促進することを目的とした法律） | ２．女性活躍推進法<br>（働く意思のある女性が自分の能力を十分に発揮し、安心して働き続けられる職場環境を作るための法律） |
| ３．配偶者暴力防止法（ＤＶ※ドメスティックバイオレンス防止法）<br>（配偶者からのＤＶに係る通報・相談・保護・自立支援等の体制を整備し暴力の防止と被害者の保護を目的とした法律） | ４．女性支援法※令和６年４月１日施行<br>（困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るため、一人ひとりのニーズに応じた支援を行い、安心して自立して暮らせる社会の実現に寄与することを目的とした法律） |
| ５．ジェンダー平等<br>（誰もが、男性・女性といった性別に関わらず人権が守られ平等に機会を与えられること。多様な性を認め合うことも含む） | ６．多様性社会<br>（性別や性的指向・性自認、年齢、国籍、障がいの有無など関わらず、互いに尊重し合い、誰もが自分らしく生きられる社会） |
| ７．性的マイノリティ<br>（レズビアンやゲイといった性のあり方が少数派の人々を広く表す総称※ＬＧＢＴＱ＋と表現することもある） | ８．茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画<br>（本市のジェンダー平等、男女共同参画の形成と推進について定めた基本計画） |
| ９．本課が実施している取組<br>（パートナーシップ宣誓制度、人権啓発講演会や各種講座、女性に対する暴力をなくす運動パネル展示など） | １０．茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ<br>（男女共同参画社会の実現をめざし、市民の方々が学習し様々な活動や交流の場として利用いただくための施設） |

## ジェンダー平等についてお伺いします

問８　あなたは、次にあげるような分野で男女の**地位**は平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に１つずつ）

| | 男性の地位の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の地位の方が優遇されている | 地位は平等 | どちらかといえば女性の地位方が優遇されている | 女性の地位の方が非常に優遇されている | わからない |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①家庭生活 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ②職場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③学校教育の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④政治の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤自治会やPTAなどの地域活動の場 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥法律や制度の上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦社会通念、慣習、しきたりなど | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑧社会全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問９　「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識*について、どう思いますか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．賛成 | ２．どちらかといえば賛成 |
| ３．どちらかといえば反対 | ４．反対 |

***固定的性別役割分担意識：**例えば「男は仕事、女は家庭」「男性は主要業務、女性は補助的な業務」というように、性別を理由として役割を固定化してしまう考え方や意識のことです。

➡裏面に続きます。

## 女性活躍推進についてお伺いします

問１０　一般的に女性が職業を持つことについて、どうお考えですか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．女性は職業を持たない方がよい | ２．結婚するまでは職業を持つ方がよい |
| ３．子どもができるまでは職業を持つ方がよい | ４．子どもができてもずっと職業を続ける方がよい |
| ５．子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい | |

## 人権についてお伺いします

問１１　あなたは、配偶者や恋人などパートナーからＤＶを受けたことはありますか。また、身近で見聞きした経験はありますか。

※　ＤＶには身体的暴力以外にも、モラハラ等の精神（心理）的、経済的、社会的、性的暴力等すべて含みます。

（１）パートナーからＤＶを受けた経験はありますか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．ある | ２．ない |

（２）身近で見聞きした経験はありますか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．ある | ２．ない |

問１２　あなたは、配偶者や恋人などパートナーからのＤＶ被害等の相談先として次のような窓口を聞いたことがありますか。聞いたことのある相談機関や窓口等に**すべて**○をしてください。

| | |
|---|---|
| １．女性の人権ホットライン（法務省） | ２．インターネット人権相談受付窓口（法務省） |
| ３．警察総合相談室（警察） | ４．性犯罪１１０番（警察） |
| ５．女性のためのＤＶ相談（神奈川県） | ６．男性のためのＤＶ相談（神奈川県） |
| ７．女性のための相談室（茅ヶ崎市） | ８．人権相談（茅ヶ崎市） |

問１３　妊娠・出産等、自分の身体のことを自分で決める権利（リプロダクティブヘルス／ライツ）を、女性が有するという考え方について、どうお考えですか。（○は1つだけ）

| | |
|---|---|
| １．賛成 | ２．どちらかといえば賛成 |
| ３．反対 | ４．どちらかといえば反対 |

## 最後の設問です。

問１４　ジェンダー平等社会の実現に向けたまちづくりについて、御意見・御要望、あなたが経験されたこと、感じていることなど、何でも結構ですので自由に記入してください。

| |
|---|
| |
| |
| |

**調査に御協力いただきまして、ありがとうございました。**

**同封の返信用封筒に本調査票を入れて、１２月３１日（火）までにポストへ投函してください。**

令和６年度ジェンダー平等社会に関するアンケート調査報告書
令和７（２０２５）年４月発行
発行　茅ヶ崎市　文化スポーツ部多様性社会推進課
〒２５３－８６８６　神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目１番１号
電　話　０４６７－８１－７１５０（直通）
ＦＡＸ　０４６７－５７－８３８８
ホームページ　https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/